

函館工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	哲学	
科目基礎情報							
科目番号	0425		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	物質環境工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		1		
教科書/教材	「チェンジ・リーダーの条件」 (P.F.ドラッガー ダイアモンド社)、「プロフェッショナルの条件」 (P.F.ドラッガー ダイアモンド社)						
担当教員	菅原 雅之						
到達目標							
1.企業や病院等の組織の社会的責任について考察しながら、資本主義を支える哲学について理解する。 2.マネジメントと人間・文化の関わりについて考察しながら、20世紀の哲学について理解する。 3.地域の課題を解決する方策について考察しながら、現代に求められる思想について理解を深める。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	哲学・思想の基礎的知識を身に付け、組織の社会的責任を考察できる。		哲学・思想の基礎的知識を身に付け、組織の社会的責任を理解することができる。		哲学・思想の基礎的知識を身に付け、組織の社会的責任を理解することができない。		
評価項目2	20世紀の哲学を理解し、マネジメントと人間・文化の関わりを考察できる。		20世紀の哲学を理解し、マネジメントと人間・文化の関わりを理解することができる。		20世紀の哲学を理解し、マネジメントと人間・文化の関わりを理解することができない。		
評価項目3	地域の課題を解決するビジネスモデルを考えながら、現代に求められる思想について理解を深めることができる。		地域の課題を解決するビジネスモデルを考えながら、現代に求められる思想について理解を深めることができる。		地域の課題を解決するビジネスモデルを考えながら、現代に求められる思想について理解を深めることができる。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (D-1) 学習・教育到達目標 (D-2) 学習・教育到達目標 (D-3) 函館高専教育目標 D							
教育方法等							
概要	「マネジメントの役割がさらに大きくなり、企業だけでなく大学や病院などあらゆる組織にとって、命運を決する鍵に にぎる存在になる。」という言葉を残したP. F. ドラッガーのマネジメント論の根底にある哲学・思想を学ぶことを 通して、社会・人間・文化について多面的・多角的に考察しながら、自己の在り方生き方を考えるとともに問題を解決 する資質や能力を身に付ける。						
授業の進め方・方法	① 知識を行動に具体化する。 ・資本主義を支える哲学・思想について基本的な知識の定着をはかり、企業や病院等の組織の社会的責任につい て理解を深める。ただし、一般社会では知識量よりも行動が重視される。ゆえに、授業中に接した情報を知識に転換し 、行動に具体化することを意識すること。 ② リーダーとしての資質を身に付ける。 ・哲学はものの見方や人間としての生き方を考える学問である。ただし、現代における人間の生き方の前提は、 「行動に責任をもつこと」である。ゆえに、行動に責任を持つリーダーに求められる資質について意識すること。						
注意点	○ 学習上の助言 ・授業は講義だけでなく、毎時間、ペアワーク・グループワーク等を行う。 ・予習としてテキストの指示された部分を通読し、簡単な内容の要約を作成しておくこと。 ・新聞(全国紙が望ましい。また、複数の新聞を読むこと。)の政治・経済記事や社説を読む習慣をつけること。 ・テキストにある専門的経済用語等については、事前に調べておくこと。 JABEE教育到達目標評価: 定期試験60% (D-1: 40%、D-2: 30%、D-3: 30%)、ポートフォリオ20% (D- 1: 40%、D-2: 30%、D-3: 30%)、その他20% (D-1: 40%、D-2: 30%、D-3: 30%)						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	マネジメントの意義と哲学・思想①			・「知識を身に付ける方法」について理解する。	
		2週	マネジメントの意義と哲学・思想②			・「事業利益と社会貢献」について理解する。	
		3週	マネジメントの意義と哲学・思想③			・IBMやGM等の失敗を哲学的に解明する。	
		4週	マネジメントの意義と哲学・思想④			・「NPOと企業の違い」を哲学的に解明する。	
		5週	マネジメントと人間・哲学・文化①			・組織の存在理由及び社会的責任について理解する。	
		6週	マネジメントと人間・哲学・文化②			・「自己管理とマネジメント」を哲学的に解明する。	
		7週	マネジメントと人間・哲学・文化③			・「組織・人事・人間の成長」について理解する。	
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	マネジメント戦略と求められる思想①			・「明日のために今日何をすべきか」について考察する。	
		10週	マネジメント戦略と求められる思想②			・「どこに未来を探るか」について考察する。	
		11週	マネジメント戦略と求められる思想③			・「起業家精神が生まれる構造」について考察する。	
		12週	マネジメント戦略と求められる思想④			・「起業家マネジメントのタブー」について考察する。	
		13週	マネジメント戦略と求められる思想⑤			・「成功のための原則」について考察する。	
		14週	マネジメント戦略と求められる思想⑥			・「トップ・チームの構築」について考察する。	
		15週	学年末試験				
		16週	答案返却・解答解説			間違った箇所を理解できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	20	20	100

基礎的能力	40	0	0	0	10	10	60
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	0	10	10	40